

株式会社ジェイコム千葉 木更津局 放送番組審議会 概要

平成 23 年度の放送番組審議会は 2012 年 3 月 12 日(月)に J:COM 木更津で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

ご出席

大 木 均 様 刈 込 詔 司 様 川 名 興 様
坂 井 昭 様 塩 谷 利 之 様 (花澤 一男様の代理出席)
藤 里 公 一 様 李 程 英 様

事業者側から現況報告及び放送法改正、J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】

会長 木更津は視聴者が多い地域となった。2～3 年前は地元の人がケーブルテレビに親しむことができるよう公民館にモニターを設置してもらい、いつでも視聴できるようにしてもらった。今日は番組への関心や反響がどうなのか伺いたいと思っている。

(各市の加入状況について)

委員 テレビを見る機会が多くて、なかでも一番助かるのが天気予報である。最近地震が多発しているので、緊急放送として字幕を出してほしい。木更津局の視聴可能世帯は 74,000 世帯とのことだが各市の加入状況はどのようになっているのか。

事業者 各市の加入状況の詳細は手元に資料がないが、袖ヶ浦市は平川地区まで、君津市は小櫃の手前まで、富津市は大貫から佐貫までケーブルが敷設され、エリアが拡大されている。

(電話サービスのPRと共通番組について)

委員 電話サービスが安価との評判だが、PRされているのかがなかなか聞こえない。もっと宣伝活動をしたほうがよいと思う。関東共通番組によって、他のエリアの番組が見られて便利になった。特に人気があって混雑している場所や近隣の情報がわかりやすくてとてもよいと感じる。

(エリア延伸について)

委員 天気予報は便利である。佐貫までエリアが延びたとのことだが、まだサービスが受けられない地域があるのは残念である。同じ富津市に住んでいて話を通じないことがあった。少しずつでもよいのでエリアを延ばしてほしい。

(地域の話づくりについて)

委員 地域の人が過去に制作した記録DVDが君津市図書館で視聴できる。なかでも 2007 年に収録した久留里のエピソードは人気があった。ケーブルテレビでも放送してみてもどうか。名物番組を作り、日常の会話のなかでも話題になるようにしてはどうか。

仕事柄、地域の行事を調べているが、君津市のイベントの話題が多い。市外から転居してくる人が多いので、イベントを開催して人間関係を構築していく意図があるようだ。ケーブルテレビでは、地域の話をついでひとつでも多く放送するようにしてほしい。

(地元の歴史のPRについて)

委員 J:COM チャンネルで取り上げられた店舗がすぐに話題となっていたことで、情報が伝わるのがとても速いことがわかった。以前、若い人向けの番組を作ってほしいと要望したが、叶えられているようで少し満足した。一方で、電話サービスがとても安いと聞いたが、加入申込みの仕方がわからないという声もある。

住宅が増えて若い世代が多くなった。そういう世代に地元の歴史を伝えたい。住んでいても地元の歴史を十分に理解していない。アウトレットモールが建設される予定だが、現代の新しいものと地元の歴史とをうまくつなげるようにして J:COM チャンネルでPRしてほしい。

(共通番組の宣伝効果について)

委員 ラーメンの特別番組で 30 分枠、『快撮⇒ちば・いばらき行』で 60 分枠で袖ヶ浦市を取り上げていただき、J:COM チャンネルには感謝している。今後もどんどん袖ヶ浦市の話題を紹介してほしい。共通番組枠で取り上げていただければ、関東全域への宣伝効果が高い。4 市のバランスもあり、編成が大変だと思うがお願いしたい。

(番組制作について)

委員 木更津市では国産のハマグリ養殖に成功し、名物としているのに地元のスーパーに並んでいない。地域の産業の起爆剤になるのに惜しい思いである。地域には注目されるものが必ずあるのでそれを念頭に番組制作をしてほしい。

(番組企画について)

委員 番組やそのテーマはずっと存続していくものなのか。番組の企画、取材先の選定、長期計画などは、ある時期に企画会議がありそこで決定するものなのか。

事業者 「生活圏」や「地域発」といったコンセプトで番組制作をしている。関東メディアセンターになったことで差別化が図れている。木更津局だけでは成しえなかったことである。

「人が主役」のコンセプトとしては、地域密着して近所の誰かがテレビに出ていたというような作りとなっている。地元のイベント取材や情報提供に引き続き取り組んでいく。

取材先の選定には、個人や団体で頑張っている方をご紹介して、見ている人にご納得いた

だけのようにしている。季節的な要素やこちらからの提案がもとになっていることもある。お祭りはどのくらいの規模なのかをもとに選定している。

(取材先選定について)

委員 4月以降はもっと幅広く取材してほしい。どれかひとつを取り上げることで他の団体との軋轢が生じてしまう場合もある。いろいろな兼ね合いに配慮してよく考えて決定してほしい。

委員 これを放送したらどうなるかを想定して、取材先を把握し番組制作をするとよい。

(グルメ番組について)

委員 食べ物を扱うお店などの放送にあたっては、事前に評価をしっかりとしておくことが必要である。番組をみてから食べに行き違う評価をする人もいる。評価もしないままずっと放送するのはよくない。最近の結果だけを放送しても伝わらない。試行錯誤の段階までさかのぼりその過程を含めて取材してほしい。

事業者 取材依頼があったところは事前に調査をしてから極力対応していきたいと思う。食べ物への取り組みの姿勢を精査し、地域への協力ぶりなどを紹介していきたい。委員の皆様には、今後とも取材へのご理解とご協力をお願いしたい。

(まとめ)

会長 限られた人数で仕事を分担し、カメラを操作して、一本筋の通ったものを表現するのは大変なことであろう。天気予報枠で放射線測定の話を取り上げるのは難しいし、地震や津波のこともまだ報道されていないこともある。掘り下げていけばきりが無いが、第一線の現場で活躍して欲しい。学校教育で J:COM チャンネルを活用することは、加入促進のひとつの手法であると思う。

以上